

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
		○	○		○		○	○	○		○	○		○

企業の概要

社名	株式会社コスモピア	都道府県	東京都
業種	サービス業(他に分類されないもの)	従業員数	119名
事業概要	ICT関連のヘルプデスク運営、教育、マニュアル作成および科学技術関連展示施設等の企画運営、アウトソーシング事業、一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業など		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク推進担当部門	営業部
テレワーク対象者	客先常駐の現場以外(管理業務部門、営業部門、在宅テクニカルスタッフ)の33名
実施者数	25名
実施日数	概ね週1回~2回

テレワークの導入・拡大の経緯

- 女性の継続的な就業とキャリア形成支援を目的に1983年会社設立、80年代後半よりテクニカル・コミュニケーションの分野で、在宅勤務を取り入れてきました。
- 2000年に入り、幹部候補として雇用育成している女性社員の出産育児や夫の転勤による転居が相次いだため、在宅勤務により継続して勤務させるとともに、早期の復職が可能になるよう、体制を整えました。
- 2011年東日本大震災の際、マネージャー職や基幹業務に従事する社員が交通網の混乱により出社できず、取引先とのやりとりや意思決定、部下への指示など業務の継続に不安を感じたことから、全社的なテレワークに取り組んでいます。

テレワークの概要・特徴

職務や理由に関係なくマネージャー職や基幹業務に従事する社員が、いつでもテレワークが可能な状態。
ワークライフバランスを保ちながら業務効率が向上するため、社員は自主的積極的に活用している。

- ・定期的なペーパーレスの実施
- ・フリーアドレスの導入
- ・office365によるクラウド化
- ・kintoneの活用による情報共有の仕組みづくり

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- コストの削減
ペーパーレスとクラウド化によりテレワークとフリーアドレスを実現、その結果、オフィススペースの縮小、コピー機等什器備品の削減などが可能になり、結果的に事務所賃料が半減。また、水道光熱費、消耗品費、旅費交通費なども減少し、販売管理費が3割減となった。
- 優秀な人材の確保
優秀な人材の、出産育児、介護、転居などを理由とする離職防止につながった。また、専門的なスキルや経験を持ちながら家庭の事情で通勤できない人材を、採用市活用することができた。
- ICTリテラシーの向上
2011年以降全社員のテレワークの実施を目指し、ICTリテラシー向上に努めた結果、デジタルデバインドが減少し、相対的に業務が効率化した。